

令和 3 年 12 月

第 506 回 三水会便り アンケート結果に沿って例会・山行継続 忘年・新年山行を再開

この一年間は、新型コロナウイルスの影響でほとんど活動できませんでした。残念でなりません。“不要不急な活動”を自粛するよう要請されました。山登りがそのようなものであるとは決して思いませんが、追い込まれました。10月にアンケートを実施しました。会員54人のうち 46 人から回答をいただきました。毎月でなくても例会を開催してほしい、現地集會にウォーキングを取り入れてほしい、現地集會を他の同好会と共同で実施、またビジターの参加を認めてもよい—などの意見が寄せられました。幹事会を開催し結果について議論、同時に2022年度の現地紹介の計画を話し合いました。しました。(高橋重)

アンケート結果報告/幹事会で議論

合同開催・ビジター参加, ウォーキング等を推進へ

高齢化・コロナ禍の影響とはいえ、ろくな活動ができていない状況でアンケートを実施すれば、強い批判が出ると予想された。結果は予想に反し総じて好意的な内容だった。コロナ禍を承知のうえでの率直な意見だった。「三水会便りを読んでいる」との回答を96%のかたからいただいた。ありがとうございました。コロナ禍が収束すれば例会を復活し、それで活気が戻るという意見には目頭が熱くなった。ただ集まるだけで会の目的が達成できるという。「毎月でなくても例会を開催してほしい」という声につながる。「現地集會にウォーキングを取り入れてほしい」、「現地集會を他の同好会と共同で実施」、また「ビジターの参加を認めてもよい」—などは、高い賛同を得たものの、具体的に「幹事を引き受ける」という要請になると賛同者はぐっと少なくなる。「人任せが多いように感じる。皆が立役者なのですから、各自ができることをするべき」という意見があった。12/2, 幹事会を開き集計結果について議論した。続けて今後の現地集會について話し合った。野美の市は、中止することにした。アンケートで提案していただいた内容を具体化し、できれば担当者になってほしい。連絡を待っています。

今期残りの現地集會 ◇12月20日「厚木鳶尾山と八管山ハイキング」/征矢◇1月13日「鶴岡八幡宮参拝と鎌倉衣張山」/増田◇2月14日「松田山ハーブガーデン」/高橋あ◇3月19日「榛名梅林」/富澤克禧(ビジター)◇**2022年度の現地集會** 4月「都内の古墳・西国分寺」/永田◇5月/遠藤◇6月1～3日「九重山」/酒匂◇7 月/遠藤◇9月/児嶋◇10月31日～11月1日/「西上州」橋本◇11月/砂田◇12月/征矢◇1月「伊豆半島 or 箱根」/三井吉(確認中)◇2月「下曽我梅祭り」/川俣◇3月「大野貯水池・御春山」/高橋あ ※「会集計結果および個々の意見を別稿に収録しました。(高橋重)

忘年山行案内 <雨天中止>

12/20(月) 厚木鳶尾山(とびおさん)・八管山(やすげやま)

落ち葉の中を歩きます。展望台からの景色がすばらしい山です。東京、横浜、湘南台と見渡せます。歩程 3 時間半+昼食休憩+バス往復 1 時間、距離 7.5 km、高低差約 130m◇集合/9:30 小田急本厚木駅北口バス 1 番乗り場◇解散/本厚木駅 15 時予定◇行程/本厚木(バス 30 分)鳶尾山前(徒歩 10 分)天覧台公園(30 分)金毘羅神社・展望台(30 分)鳶尾山(20 分)鳶尾峠(20 分)憩いの森青空館(50 分)八管神社・八管山展望台(30 分)中津川カントリークラブクラブハウス(30 分)上荻野(バス 30 分)本厚木。歩程 3 時間 30 分◇行き/本厚木駅 9:40 発、半原行乗車、鳶尾山前下車、350 円◇帰り/上荻野で本厚木行き乗車。14:13, 33, 53 発、440 円。途中で軽く一杯やりたいと思います。各自飲み物を用意してください◇連絡先/征矢三樹 E-mail/soyamiki@td5.so-net.ne.jp 080-3558-3250 03-6886-4392



■POINT 日本最古の一等三角点 鳶尾山の一等三角点は、日本全国に 10 万ほどある三角点の中でも日本最古のひとつ。1882(明治 15)年に地形図の整備計画によって作られた「相模野基線」を一边とする三角形の形成に利用され、近代測量の進展に大変重要な役割を果たした。

新年山行案内 <雨天中止>

1/13(木) 鎌倉鶴岡八幡宮・衣張山＋一条恵観山荘(京都から移築)

まずは鶴岡八幡宮参拝から。駅から歩いての出発になります。衣張山は標高がわずか120mほどですが、晴れば伊豆箱根方面の眺めがよい山です。山を下りてすぐ、近くの公園の一角での乾杯・昼食で、一年のスタートに。昼食後ゆっくりと休憩した後は巡礼古道の山道を経て街へと下り、近くの鎌倉市の保存家屋 旧華頂宮邸(庭園のみ解放)を訪ねます。四季のバラなどの見られる洋風庭園です。その後京急バスの浄明寺バス停に着き一旦解散とさせていただきますが、希望者で、2017年に、京都から庭園ごと移築され一般公開された一条恵観山荘(イチジョウエカンサンソウ)を訪ねます。入場料 500 円。多くの皆様の参観をお願いします。京風の庭園が鎌倉滑川の風景と程良くマッチしています。

◇集合/JR鎌倉駅東口改札前午前9時30分◇コス/鎌倉駅東口(歩いてスタート9時 45 分頃)→鶴岡八幡宮(参拝・休憩含)→大御堂橋→(田楽辻子のみち)→四ツ辻→山道入口→(倒木多い・登り道)→衣張山→浅間山→ハイランド住宅地脇の緑地公園(出来れば乾杯昼食)→(巡礼古道)→旧華頂宮邸→浄明寺バス停(解散)◇京急バス/鎌倉駅◇OP 浄明寺バス停→約3分→一条恵観山荘庭園→バス停/鎌倉駅(徒歩約2時間半、昨年計画のコースを一部変更)◇持ち物/冬の日帰りハイキング装備。昼食と湯・水、マイ・カップ、登山杖(意外に便利)など。ほかにアルコール等のワンドリンクを各自持参で(昼食時に軽く乾杯程度に)◇会費ナシ、一条恵観山荘見学の方は他に入場料 500 円◇幹事/増田達治◇参加の連絡/1月10日(月・祝)までに増田達治宛 TEL 0466255599, ケイタイ 09024627916 (SMS 可)

■POINT 一条恵観山荘



山荘は、後陽成天皇の第九皇子であり、摂政・関白を二度務めた一条恵観(兼遐・昭良)によって営まれました。およそ 370 年前、時代は江戸時代初期、正保三年(西暦 1646 年)にこの山荘で茶会が催されたという記録があります。往時は京都西賀茂に建つ、緑の濃淡が幾重にも連なる里山に建つ一条家別邸の離れでした。一見すると田舎家風な

その建物は、恵観公自身が設計をし、随所に雅な心と野趣が込められた、皇族の「茶屋」です。昭和 34 年、鎌倉の地に移築。庭石や枯山水も建物と共に移され当時と同じように配置されました。その後、昭和 39 年には国の重要文化財に指定。同年代の建物としては、京都にあります「桂離宮」「修学院離宮」が有名です。桂離宮は恵観の叔父の八条宮智仁親王、修学院離宮は恵観の兄の後水尾天皇による造営であり、いずれも江戸初期の朝廷文化を今に伝える施設です。(一条恵観山荘ホームページから)

現地集会報告

11/4～5 西上州 カイト山・オドケ山・東御荷鉾

三水会から西上州に出かけたのは、記録によると 1978 年春に万場の今井屋に泊まって荒船鉾泉と物語山に登った坂倉・高田組が始まり。スーパー林道は開通していませんでした。開通は 83 年。不二野屋さんには 2003 年からお世話になっています。今回は 17 回目、ビジター 2 人を加え 10 名が集まりました。武田さんは前日からの参加です。11 月 4 日快晴。昨年工事中で道がわからず登頂できなかったカイト山に再挑戦。道も直って昭ちゃんのマイクロで途中「通行禁止」の看板も外してふもとまで林道に行く。頂上手前はかなりの岩場でした。11 月 5 日はオドケ山と東御荷鉾山。主峰の東西御荷鉾山とオドケ山含め「三株山」が名前の由来という説もあるらしい。オドケ山は往復 1 時間だが、それほど眺望はよくない。尾崎喜八のいう「二座の美しい乳房」のひとつ西御荷鉾には 99 年と 09 年にも登っています。今回は、西御荷鉾は工事のため通行禁止なので東御荷鉾山に変更しました。暗い植林を抜けると両神山と奥秩父を望む。山頂で、不二野屋のママのいい塩梅の握り飯をいただきました。林道は万場からの道が通行止めで法久峠まで進み上がっていき東御荷鉾山登頂後に、また来た道を戻るという大変長いルートを運転していただきました。不二野屋の昭ちゃんに感謝です。参加 10 人/北口、児島、下野、征矢、高橋あ、高橋郁、武田、橋本、富澤克禮(ビジター)、平野哲次(同)。来年も西上州で会いましょう。10/31 日(月)～11/1(火)で予約しました。白髪岩(しらがいわ・1512m)を予定しています。



(文/橋本)

三水会便り 第 506 回 発行 2021 年 12 月 2 日 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会 便り担当 砂田定夫、北口マリ子、山口延子、文責/高橋重之